

恵庭商工会議所
役員・議員並びに会員の皆様へ

恵庭商工会議所

恵庭市内景況（マインド）調査へのご協力のお礼について

毎々、標記調査にご協力を頂きまして、誠にありがとうございます。つきましては、前回調査の集計結果概要について、以下の通りご報告申し上げます。詳細やご不明な点等がございましたら、商工会議所（TEL 34-1111：経営支援課）までお気軽にお問い合わせください。

サンプル数の状況

調査年月	調査数	回答数	商業	工業	建設業	サービス業
R8.4月	198	83	17	27	25	14
		41.92%	20.5%	32.5%	30.1%	16.8%

（注）※ D.I.値（景況判断指数）について

D. I. とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「上昇」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「低下」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

$$D.I. = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$$

【 業況・採算：(好転) - (悪化) 売上：(増加) - (減少) 】

～ 本件に関する
お問い合わせ先 ～

※ 印刷の不鮮明等がございましたら、
お気軽にお問い合わせください。

〒 061-1444

恵庭市京町80番地

恵庭商工会議所 経営支援課

【TEL】

34-1111番

【FAX】

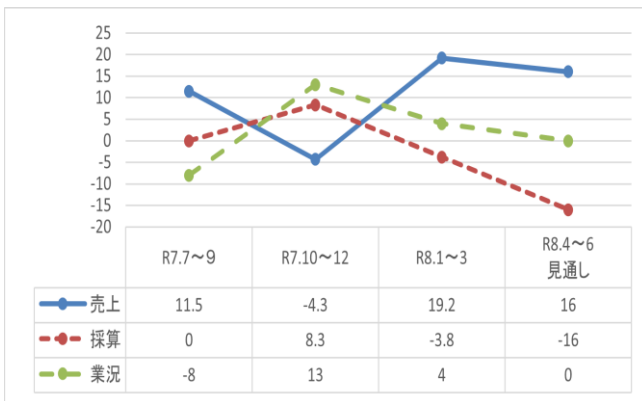
34-0133番

【Eメール】

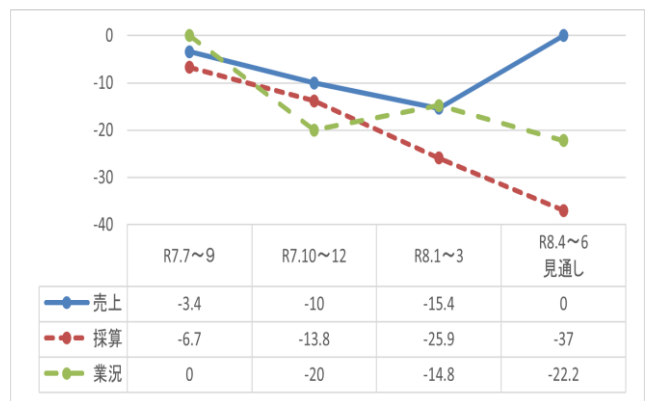
eniwacci@eniwa-cci.or.jp

恵庭市内 産業別 DI 【実績】令和7年7月～9月、10月～12月、令和8年1月～3月
【見通し】令和8年4月～6月見通し

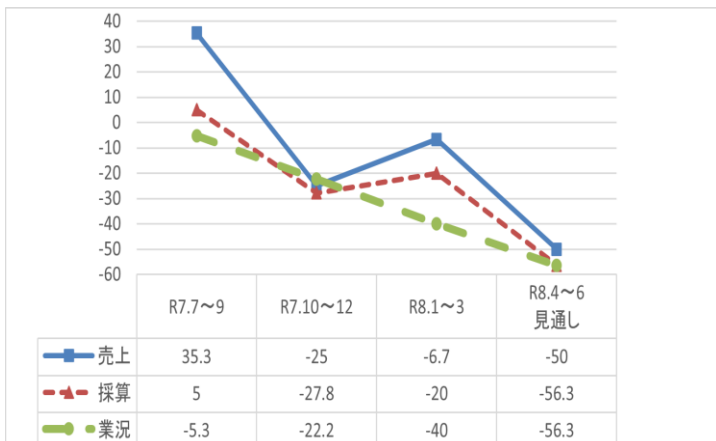
建設業



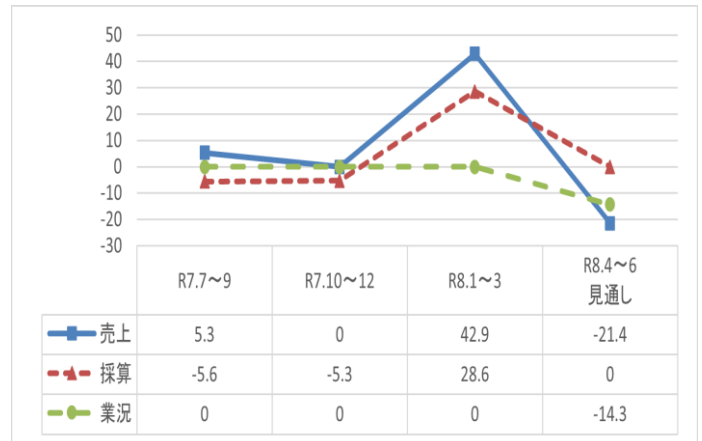
商業



工業



サービス業



【建設業】

- ・ 昨年より降雪量増加により1～3月の売上高が増加した。
- ・ 新事業への進出により、売り上げは増加したが、人員不足によりパートナー会社にも入ってもらえず、利益は多く見込めていない。
- ・ 原油化価格の見通しが立たない。
- ・ 前年度好調だったため減少傾向かと思ったが、何とか維持できたかと思う。
- ・ 公共工事前年度の売上7%に付受注売上利益減少

【工業】

- ・ 米中貿易摩擦と物価上昇の影響大きい
- ・ 原価価格の高騰により、原料価格に影響が出てくると考えられる。
- ・ 第4期もインフラ整備関連工事はどの受注で好調ではあるけど、技術者不足による機会損失がなんとももったいない。
- ・ 値上げ、販売機の不振、減少。
- ・ 生産販管費上昇に対して売上、値上げの進行についていけない、ペルシャ湾関係の影響力、非常に荷動きが悪い。
- ・ 仕入れ価格の上昇が著しい。全てにおいて弊社にとってマイナス要素が多すぎる。

【商業】

- ・ 予測通り同業他社・大手流通商社との価格競争激化により薄利な契約が多くなり売上収益とも前年割れ、国の物品購入契約が益々中央寄りになっており、国の地方創生はどうなっていくのか。
- ・ 会社関係の仕事量に減少が見られるが、個人消費は底固く推移している。
- ・ 雪の多い冬で冬季商品で忙しい思いをしたけど、いい仕事がありました。
- ・ 原材料他経費、人件費のコスト上昇に対して価格転嫁（市場の受け入れ状況）が追いついていないため利益率が下がり、資金残高も減っています。
- ・ 今後も傾向は変わらず、個人消費は底固いと思われる。

【サービス業】

- ・ 新規取引先が増え、売上増に繋がった。除排雪の仕事増加により昨年度時期より好転。
- ・ 建築業者さんからの土地の問い合わせがほとんど無い。

～自由記述ご回答～ 《令和8年4月～6月の見通し：昨年と比べて》

【建設業】

- ・アメリカ・イラン戦争の影響で検討もつかない状況です。
- ・売上高上昇だったが、材料が入ってくる目途が立たないとかなり厳しい状況になってくる。
- ・トランプさんのおかげで大変です。役所関係の仕事はスライドできると思うが、民間工事のコスト増は中々転嫁が難しいと思われる。
- ・昨年と変わらず受注売上少々7月以降公共工事民間工事受注見込み有り。昨年より売り上げ伸びると思う。

【工業】

- ・中東情勢に伴う原油、ナフサ供給の影響による原材料費の値上げ。
- ・イランのホルムズ海峡による材料調達が大きな懸念材料。また三年連続で当社としては高めのベースアップをしたが物価高騰で反応薄い。
- ・原料、エネルギーコスト上昇予告から採算面での悪化の懸念あります。
- ・シンナー、建築資材が不足と40%値上げに対応しきれない。
- ・ナフサの供給問題で包装材料の値上げが始まっているのと、供給制限で新商品の投入が難しく先行不透明になってきた。
- ・エンジンオイルやその他備品の確保が難しい。
- ・4月から中東情勢のあおりを受けて原材料の値上がりがすごい。コロナショックの二の舞になるのではないかと危惧している。
- ・好転の材料があまり見当たらない。
- ・ラピダスの影響はありません。
- ・原油価格の高騰により、原料価格に影響が出てくると考えられる。
- ・主力得意先からの受注減による
- ・春が早い予報

【商業】

- ・中東情勢の混乱が長引けば原材料不足・高騰が見込まれ、品薄による出荷制限商品、資材が出始めており、物価上昇、人手不足・賃金上昇等諸経費増加避けられず利益確保ができない。
- ・今後も傾向は変わらず個人消費は底固いと思われる。
- ・春の商品の動きは鈍く、新車より中古商品が動き、高額商品を選ばない人が多い。
- ・石油関係の資材などの値上がりにより、利益が削られる見通し。一般消費者もいろいろな値上げにより、買い控えがあるのではないかと不安。

【サービス業】

- ・4月はほぼ仕事がなく、教育機関としていて5月、6月分は契約済みの現場があるので盛り返せる予定。ラピダス関連は特になし。
- ・業種が旅行業の為、企業の周年旅行の年か何年かごとの旅行の年に当たるとより売り上げ利益が変わってくる。又、費用対効果を考え小学校の修学旅行や、社会見学の取り扱いを今年度からやめた為、この目減りも今年度は大きい
- ・住宅設備など住宅建築に必要な材料の供給が望めない状況でコロナ期以上の不況感がある。
- ・今現在は不変です。2年後に期待したい。